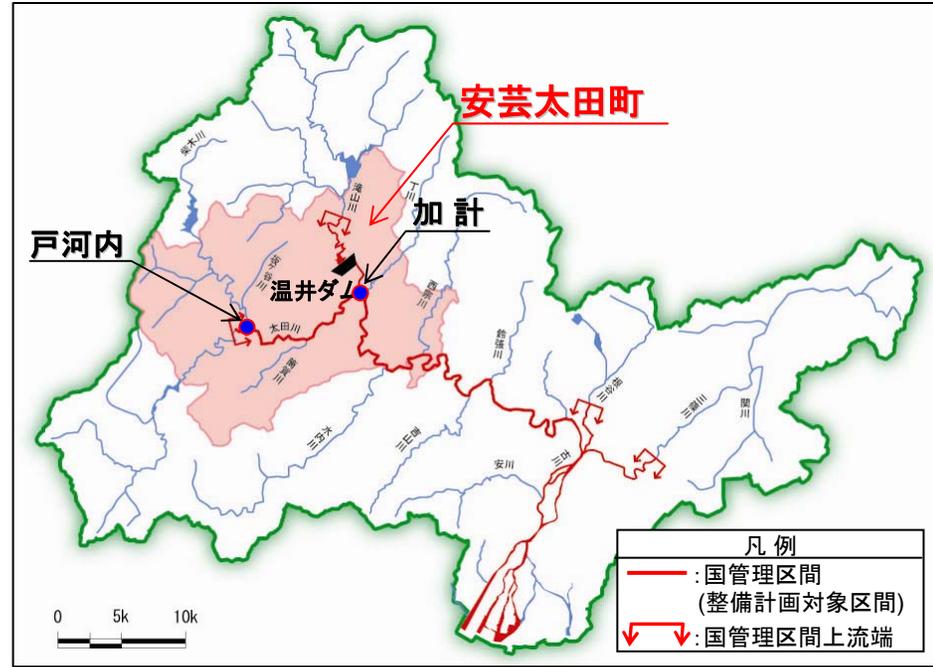
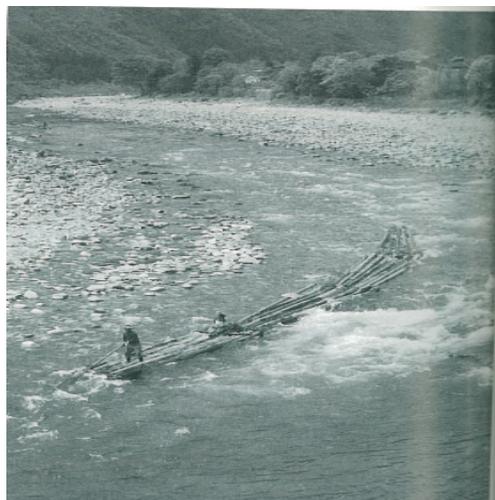


# 2.1 上流域の概要(安芸太田町)

- 安芸太田町は太田川上流域の中心地
- 安芸太田町の人口は約9,200人(H12国勢調査)
- 総面積は約342km<sup>2</sup>で、そのうち約9割が森林
- 急峻な地形を形成し、太田川に沿ってわずかに開けた平地に集落が点在
- 近世には砂鉄と豊富な森林資源を利用した、たたら製鉄や紙すきが盛んであった
- 太田川は木材や安芸太田町を中心とした山県鉄の運搬ルートとして重要であった



太田川上流の戸河内付近



イカダ流し(中国新聞社提供)



昭和8年頃の舟着場(加計町東澄合)

# 2.2 上流域と下流域の比較

■広島市は中四国地方唯一の百万都市であり、下流には中心市街地を形成。高度な都市機能が集積

しかし、太田川上流域は

- 人口の減少による過疎化が進む
- 暮らしを支えてきた第一次産業が急速に衰退
- 人口分布は広島市に比べ年齢構成が高く、住民の高齢化が進行

